

看護部の教育・研修計画

厚生労働省、日本看護協会等主催の研修会に積極的に参加。
院内教育は、年間スケジュールをきめ、開催しています。

看護部のねらい

救急医療に対応でき、地域に貢献し、
心のこもった看護が提供できる

- ①看護の知識、技術を生かし保健医療チームの一員として対象への看護が適確安全に行えるようにします。
- ②個々の患者のニーズを適確にとらえ看護過程を展開します。
- ③他部門の機能を理解し、効果的なチームワークにより、患者に治療的環境を提供します。
- ④看護職の職業人としての能力を適確にとらえ、その能力を有効に発揮できる環境を整えます。
- ⑤経済性を考えた効率の良い看護を実践します。

教育目標

主体的に看護を実践し、
自己の看護能力を発揮できる

- ①看護過程を展開し、個別的な看護を継続的に実践できる
- ②よりよい看護を実践するために必要な、リーダーシップを取ることができる
- ③医療チームの一員として専門性を確立し、ケアマネジメントができる

■ 新人がうける研修

法人研修

集合研修(院内)

外部研修

病棟での教育(単位別教育)

その他

■ 法人研修

- ・ 4月1日～3日 3日間
- ・ 法人の歴史、理念、方針
- ・ 医療の現状と方向性
- ・ 安全管理、感染対策
- ・ 接遇
- ・ 防災
- ・ 法人の諸規則と福利厚生
- ・ 守秘義務と人権・個人情報保護



院内研修

■ 教育の評価

1. 1年間の教育計画

1年間の教育研修内容を年度末(2～3月)に評価し、次年度の教育内容の修正・変更を行う

2. 新人看護師

チェックリストを用いて自己及び上司により個々の能力を評価する(1～2年間継続)

3. 各研修評価

各研修内容および講師に対する評価は、研修レポートによって評価



新人指導計画

到達目標(1年間)

1. 1ヶ月～3ヶ月を目安とする。

- 1) 病院の機能と看護師の役割を学ぶ。
- 2) チームの組織・機能を理解し、業務内容を理解する。
- 3) 各部署の特殊性と構造及び設備を学ぶ。
- 4) 各部署の業務の役割を理解する。
- 5) 基本的な知識・技術を身につける。
- 6) 各疾患の特徴を理解し、疾患に応じた治療・看護を理解する。

2. 4ヶ月～6ヶ月を目安とする。

- 1) 基本的技術を積極的に体験し、確実に実施できるようにする。
- 2) チームメンバーの役割を理解し、チームカンファレンスに積極的に参加する。
- 3) 観察・記録・報告が的確に実施できる。
- 4) 検査の援助を手順に従って、的確・安全に実施できる。
- 5) 医療における事故を予測し、防止することが出来る。

3. 7ヶ月～12ヶ月を目安とする。

- 1) チームリーダーの役割を理解し協力する。
- 2) 受持ち患者の看護計画を立案し、実施できる。
- 3) 基本技術及び診療の補助技術を指導なしで実施できる。
- 4) 特殊検査及び特殊治療の援助ができる。
- 5) 医療器械・器具・看護用具の正しい使用方法が理解できる。
- 6) 急変時に必要な器械・器具・看護用具・薬品などの準備、取扱いができる。

